

陸上へ行けなかった

東部小・4 松尾 恒寿

ぼくにとって陸上は

友達ときずなを深める大切な時間。

チームでリレーの練習や

ドッジボールをするから。

だけど

たまに陸上に、行けないときがある。

陸上の日にかぎって雨がふってしまふから。

そのとき

ぼくは、泣いてしまふ

「陸上で友達といっしょに走りたいよう。」

と言いながらぼくは泣いた。

どうしても

どうしても

行きたかった。

ぼくにとって陸上は、大切な時間

だけど行けない。

次の土曜日ぼくは、ニュースを見ていた。

天気予ほうによると

ちようど陸上のある時間に雨がふる予想だった。

ぼくは、神様にたのんだ。

こつちに走ってくる雨をちがうところへ行かせてくださいと。

そしたら

雨がやんだ

ぼくは、思った

陸上へやっど行ける。

友達と楽しく走れる。

速く走れるように

がんばるぞ。